

## 志賀原子力発電所 1号機 第8回定期検査の開始について

平成15年3月14日  
北陸電力株式会社

志賀原子力発電所 1号機（沸騰水型、定格電気出力 54万キロワット）は、平成15年4月21日から発電を停止し、平成15年8月上旬までの予定で第8回定期検査を実施します。

この検査は、電気事業法に基づいて年1回実施するもので、原子炉本体、原子炉冷却系統設備、原子炉格納設備等の点検を実施する他、全燃料368体のうち84体（予定）を新燃料に取り替えます。

なお、本定期検査の停止期間を利用して、炉心シュラウド(\*)について応力腐食割れに対する予防保全対策工事を実施します。

\*：炉心シュラウドとは、原子炉圧力容器内に取り付けられている燃料集合体（炉心）を囲むように配置されている円筒状のステンレス製構造物で、原子炉内の冷却水の流路を形成する仕切り板の役割をもつものです。